

# 豊かな心と確かな学力をもつ子どもの育成

～ICTを効果的に活用した複式授業の個別最適な学びの充実～

猿払村複式教育研究部会

## 1. 研究主題について

本研究会では、研究主題を『へき地・複式・小規模校の特性を生かした、豊かな心と確かな学力をもつ子どもの育成』とし、ICTの活用を軸とした効果的な複式授業の構築を目指している。今年度も各学校での取り組みを基本として、情報共有を行っていく。

## 2. 複式授業におけるICTの活用

猿払村では、児童がスムーズに自ら学習を進めることができるよう、AIドリル QUBINA を活用している。また今年度は GoogleWorkspace を授業や児童生徒とのやり取りに活用したり、村内小中学校同士の情報共有に活用したりしている。

ICTはもはや、小規模校をつなげるツールとして、欠かすことのできないものとなっている。



## 3. 猿払村教育研究会での取り組みから

### ○浜鬼志別小学校

10月31日に『猿払村教育研究大会』が開催され、村内小中学校の教員が参観し、研究協議が行われた。

3・4年は『図形』の領域を、5・6年生は『古典』の授業を公開した。

本校の研究主題「粘り強く、主体的に課題を解決することができる子どもたちの育成」を達成させるために「レジリエンスを根付かせるために教師の手立てが有効だったのかどうか」「児童が主体的に課題解決に取り組んでいたかどうか」を協議した。

今後もレジリエンスを根付かせる授業づくり・学級づくりを目指していきたい。



### ○知来別小学校

今年度、知来別小学校では、参観日や授業研究について村内の学校も呼びかけを行い公開した。参観していただいた他校の教職員から授業について感想や助言を受け、教職員で環流し研修に繋げている。昨年からのPTAと取り組んでいる「知来別小学校メディアコントロール宣言」については、12月の参観懇談日に児童、保護者を対象に稚内市立潮見が丘小学校校長 吉崎健一様を講師にお招きして「メディア利用講習会」を開催した。わかりやすい資料や内容に児童も興味津々でメディアとの付き合い方や望ましい利用について学ぶことができた。改めて、児童、保護者、教職員でメディアコントロール宣言を行い取組について確認した。



### ○浅茅野小学校

今年度から、3・4年生では、合同の社会見学が復活した。本校3年生児童は、同級生のない1人学級であり、緊張しながらもこの日を待ちわびていた。訪問したのは、児童の両親が働く牧場である。村の全同級生に自慢の牧場を見せることができ、誇りに感じている様子であった。家族の生活の様子について、説明したり、質問を受けたりする活動を通して、自分自身の学びも深まっていた。

見学後は、Googleスライドを共有し、見学レポートを作成し、各学校に居ながらにして成果交流を行った。見学のしおりや計画も共有し、学校間での教師同士の打ち合わせもスムーズに行えた。合同学習において、ICTはなくてはならないアイテムとなっている。

## 4. 今後の方向性

今年度の成果は、なにより学校間がICTによりつながったことである。

今後はさらに、教師と児童のメディアリテラシーを高め、個別最適な学びと協働的な学びにつなげ、確かな学力の定着を図っていきたい。